^{議式第3号}						事務事業訊	価表(平成:	26年度)									
事業コード		234		課コード		0404	会計種	引 一般会計			3	予算の種類	■政策		■経常	□なし	
1. 事業の概要	E (PLAN)																
1. 学术VM女	E (I LAIV)		基本事業 地元農産	を物の地域内流通シス	ステムの確立			実施計画への	n								
		①事業名		施設整備事業				位置づけ	,	●有○	無	②部課名	環均	竟経済部·	・農政課		
		③事業主体	●市 Oその		. <i>t-</i> . <i>t-</i>) ④対象地区	□我孫	子 □天王				午佐	■全市		
(1) 事業概要		⑤事業期間 ⑦事業費		平成25	5年度 ~			⑥担当職員数	(当 初)		5 人				0.75 人), 975 千円)		
		(人件費含む)	総事業費		0 千円			当該(開始)年	(変更後)		Ŧ	円 (うち人	、件費		千円)		
		 ⑧施策の位置づけ	施策	22201		点プロジェクト への位置づけ	重点2	基本計画地区 計画への位置		○有	無	部門別計		画名)	農業振興地域整	備計画	
		施策目的・		内で流通させるため、			『に対応した安全・安心な			な地元農産物	の地域内流通シ			 の推進を。	とおした農業者	首・消費者との交	
		展開方向	物を供給します。ま		るため、学校給食	などへの地元農産物の)供給や、食と農に関する	情報 事業目的	流や文化が 設置する。	設など地域資	₹源との連携を図	限との連携を図りながら交流人口の拡大を図る、直売所を併設した農業					
(3)事業内容		内 容	あびこ農産物直売所(アンテナショップ)の運営者農事組合法人あびベジへ支援をし安定的な運営を目指す。農産物直売所を併設した農業拠点施設を整備する。市が施設の整備を行い、運営は民間が担う公設民営方式を採用する。農業拠点施設は、安全・安心な農産物の栽培等の普及と情報の受発信機能を持ち、農業者に対する栽培履歴の作成指導等をはじめ、農業者同士の研さん・交流、環境保全型農業に関するさまざまな情報を受発信していく。さらに消費者・市民や商工業者に対する「あびこエコ農産物のPRや学校給食などへ地元農産物を供給し食育を推進する。							4~3月 (1) 農事組合法人によるあびこ農産物直売所 (アンテナショップ) の運営サポートと運営実績の検証 (2) 同直売所における販売促進および安全対策のための備品購入と場内施設維持管理 (3) 我孫子産農産物の通年PR、農業まつり等イベントの開催 (4) 農業拠点施設整備基本設計業務 (根業拠点施設運営方針の確立ため、農事組合法人による現農産物直売)							
										当該年度 活動結果指標 発備基本設計業務							
(4)達成目標(期待する成果) 当該(開始) 年度		達成目標(期待する成果) 農事組合法人による現農産物直売所(アンテナショップ)の運営実践と検証							農東組合等	指標 単位 (5)現況値 (6)目 農事組合法人による現農産物直売所 (アンテナショップ) の運営実践 。							
当該(開始)年度		展準値自体へによる必然度性物画が所(ナンナナンコナン)の建画大成と校画							と検証	と検証							
3年後		展来拠点地政の全側を17つ 安全安心で新鮮な農産物の販路拡大、環境保全型農業の推進、手質沼文化拠点等との連携を図り交流人口の拡大を図る								設(直売所)				%	C	1	
最終(概ね5年後)		安全安心で新鮮な農産物の敗路拡大、環境保全型農業の推進、手質沿文化拠点等との連携を図り交流人口の拡大を図る 農業拠点施設内に整備する農産物の直売機能が安定した経営を行うためには、農事組合法人による現農産物直売所(アンテナシ							辰未拠点加	弦(巨元が)	不甘奴			人	C	150, 000	
(7)事業実施上の課題と対応		展来来拠点施政内に全備9 る展産物の直元機能が女走した控告を行うためには、展争組合法人による現展産物直元所 (アンテアン) の経営の実践をする必要がある。しかし、経営の実践を行ううえで、東電原発事故に行う放射能問題が大きなダメージ となっており、風評被害対策をはじめ特別の支援が必要である。なお、併行して、国の交付金等の研究を行い整備する際の財源								O有 ●	無						
		となつ(おり、風	<u>評被書対策をはしの3</u> 平成25年度	寺別の文版か必安で の	<u> </u>		0研究を付い登備する際の 6年度	別別		平成27年度				平成 2	28年度		
(8) 施行車項	実施内容 費 用	改業 内容 金額(千円) 菓刈委託料 277 直売所備品賃借料(AED) 84 直売所備品購入費 647 農業等の情報 55 (備品購入費(車両購入費) 990 ※ 後務費(自動車量量税) 7 ※ 需用費(燃料費) 68			政策 内容 金額(千円) 実績 草刈委託料 289 直売所備品賃借料(AED) 84 直売所備品購入費 1,032 直売所修繕(出入口引き戸) 162 農業主つり負担金 55 役務費(軽トラック12ヶ月点検) 17 需用費(軽トラック燃料費) 31 業農業拠点施設基本設計業務委託 4,500 地元野菜使用店のぼり旗 216			直 直 農 需	値(千円) 政策 内容 章 草刈委託料 直売所備品賃借料 (AED) 直売所備品購入費 農業まつり負担金 需用費 (長下) の一次			金額(千円) 政 内 容 章 ブル委託料 電売所備品賃借料 (AED) 電売所備品購入費 農業 で リ負担金 需用費 (軽トラック燃料費) * 農業拠点施設本体工事費・管理費				金額(千円) 289 84 650 55 31	
	予算(済)額 国庫支出金	補助率	計 0 %	2, 151	補助率	合 計 0 %	7, 886	補助	<u>合</u>	計 0 9	6	1,109 補助		計	0 %	1, 109	
ļ	県支出金 起債	補助率 充当率	0 % 0 %	0	補助率	0 %	0	補助	率	0 9	6	0 補助 0 充当	率		0 % 0 %	0	
	一般財源			2, 151		□ 信務 □基金 □そ	7, 886					1, 109		连 数 口制		1, 109	
換算	の他の財源 算人数(人)	□ □符芸 □支金 L	□債務 □基金 □その	0. 75	口符芸 口気金	: □慎務 □基金 □で	0. 75	口符:	会 口受益 口債務	分□基金 □で	での他	0. 75	民 口安金 口	頂務 □型	基金 □その他	0. 75	
(10) 人件資等 嘱託	職員人件費 任職員報酬額			6, 975			6, 975					6, 975				6, 975	
事業費(予算(済)額+正	寺職員賃金額 正職員人件費)			9, 126			0 14, 861					0 8, 084				0 8, 084	
(11) 単位費用 (事業費/活動結	吉果指標)		91.26千円/%			148.61千円/%											
2. 事業の評価	(DO+CHECK)															
評価項目	■				了評価				事 後	評 価 (評価	価結果に応じ、♂	女善案検討 (拡き	たも含む))			改善検討	
(1)事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)		望をもって農産物 地即消費地を生か 新鮮な農産物を提	生産に取り組むことが した農業、「地産地対 供する場が必要であるの交流の場、手賀沼ス	ができる流通基盤づく 肖」事業〕の確立の る。また、農業技術の	りが必要である。市が提唱する「あびこ型都市農業」〔生産 め、農家と消費者がお互いに顔の見える中で、安全・安心・			○②事前確認での	①事前確認での想定どおり ②事前確認での想定どおりでなかった 想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>							O要 〇不要	
必要性(2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性)		○①民間企業、N (理由) □法令等	NPO、市民団体等で で市が実施することだ 体が市しかない		□@ □@ □@ □@ □@ □@ □@ □@			□②市が主導で進る □③市が先導役とで 促進された	□④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他			5実施の具体的7	は内容・必要	性の理由	>		
		(理由) ■市が主 □市が実 サービ □市が支	る市が推進すべきであ 導で進めることにより 施・提供することによ なが保証される 援することにより政気 図られる	リ実効性が得られる より、良質で安定し <i>†</i>				□⑤サービス水準/									
参加・ 市民の参加や市居 高 動力 (体制づくり)	■6)市民と共同で黒葉を実施				工夫の具体的な「 あびペジとあびこ型「! よって事業を展開する		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容 〇①当初期待した以上 〇②当初期待したとおり 〇③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				〇要 〇不要			
									±								
環境 環境に配慮して事業を進めているか? にるか?		□①自然環境を生			環境保全型農業	取組む内容 業を推進し、エコ農産	9	実施した具体的な内容			①想定どおり	環境への	配慮				
		□②生き物と共存 ■③手賀沼を意識 ■④環境負荷低源 □⑤その他	哉している 或に貢献している		o						〇②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>						
		現況値(a)(%)	目標値(b)(%)			妥当性のチェック		達成			標値達成 標値未達成						
(1)目標設定は適切か?		■①客観的なデータ・事実に基づき設定してい ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例に 同等の水準である					漂値(と現況値の差)と	実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	2举(%)				○要 ○不要			
カ (2)事業費削減の いるか? t	の工夫をして	事業費 (c) (千円) 14,861 事業費肖	 る事業費削減 事業費削減額(d) (千円) △5,735 削減率(%) 	□①国・県助成制 ■②現有体制での □③維持管理費の □④民間委託 <削減の内容>	度活用 対応	値予定の対策 □⑤ P F I 等 F □⑥ 受益者負抗□⑦その他	民間資本の活用 目	実施 実績値(g)(千円) <超過理由等>	状況 対事業費(%) (g/c)×100	─ ○②概	正事業費未満 ね想定事業費以 定事業費超過	O(1)	事業費の調明の想定とは	おり おりでなた	いった	〇要 〇不要	
(3)目標値を実現 投じる事業費 (目標対費用)	貴は適正か?	0. 67	目標値対事業費(e)単位%			計算方法 樣:目標値×費用単位 <i>。</i> 結標:(目標値-現況値	/事業費 i)×費用単位/事業費	達成 実績値(h)	状況 対目標値(%) (h/e)×100	─ ○②目標	漂値以上 漂値と同程度 漂値以下	<目標値以上と	なった理由。	/目標値以	以下であった原	(因> 〇要 〇不要	
3. 事後評価	2	A4.	O#+ A =	0.5	/ 赤 本 マ ‥ - ‥	0.7.5.11.11	574,10										
○現状どおり推進	〇拡充	〇縮小	〇結合 〇休止 評価=	〇廃止 ()事業手法見直し	〇その他(事業学	元子など)				改善策及び展	開方向					
評			計124 =								∞ロベスび版						
西																	